

# 阿寒病院は民営化せずに 市が直接運営を続けるべきです



12月議会で、釧路市は市立阿寒病院を25年4月から民営化すると表明しました。しかし、民間病院に転換すれば、利益があがらなければ経営はできません。民間では採算が厳しいので、町立病院・市立の病院として経営してきたはずで、赤字が続くようなことがあれば、病院の撤退が現実のものになります。そうすれば、阿寒町本町地区は「無医村」です。ぜひ、市立の医療機関として残しましょう。

病院をみんなで  
守りましょう



## 問題だらけの民営化方針

まともな努力もなしに、赤字を拡大したのはなぜ？ 病院の「改革プラン」をつくって経営改善？それならなぜ、会議録もつくらなければ、増収策もほとんど取り組まなかったのでしょうか。一生懸命がんばったけれど、うまくいかなかったというなら、納得しますがそうではありません。

先生はどうなるの？ 二人の先生は民営化にキツパリ反対。民営化しても三慈会には行かないと言っています。看護師もそうです。介護職は大半が雇い止めに。病院の職員たちの意見も聞かずに無理やり民営化を進めています。もちろん、民営化後の職員の処遇もわかりません。

昨年8月からこつそり協議 民営化の検討が始まったのは昨年の8月から。阿寒町に住む市議や鶴の園の役員も参加していました。この役員がそのまま、阿寒病院の検討委員会の委員に選ばれて、民営化の方向も提案することになります。町民に内緒で実は進められていたのです。

ホンネは  
三慈会ありきで  
すすめています



今いる二人の先生に安心して医療に取り組んでもらうためにも、民営化はすべきではありません。そして、将来は合併時の約束を守って、市立釧路総合病院の分院にして、市が継続して阿寒地域の医療に直接責任をもつべきと共産党は提案しています。



## 阿寒病院の民営化反対の 署名にご協力ください